

【単元名】体育理論③ 文化としてのスポーツの意義（配当 3 時間）

1 単元の目標

- (1) 文化としてのスポーツの意義について，理解することができるようにする。
- (2) 文化としてのスポーツの意義について，自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて思考し判断するとともに，他者に伝えることができるようにする。
- (3) 文化としてのスポーツの意義についての学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>○知識</p> <p>①現代生活におけるスポーツの文化的意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代生活におけるスポーツは，生きがいのある豊かな人生を送るために必要な健やかな心身，豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていることについて，言ったり書き出したりしている。 <p>②国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは，世界中の人々にスポーツのもつ教育的な意義や倫理的な価値を伝えたり，人々の相互理解を深めたりすることで，国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることについて，言ったり書き出したりしている。 <p>③人々を結び付けるスポーツの文化的な働き</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツには民族や国，人種や性，障害の有無，年齢や地域，風土といった違いを超えて人々を結び付ける文化的な働きがあることについて，言ったり書き出したりしている。 	<p>・現代生活におけるスポーツの文化的意義，国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割，人々を結び付けるスポーツの文化的な働きについて，習得した知識を活用して，運動やスポーツとの多様な関わり方や楽しみ方についての自己の課題を発見し，よりよい解決に向けて，思考し判断するとともに，自己の意見を言語や記述を通して他者に伝えている。</p> <p>※全3時間の中で，該当時間のねらい等に対応させ，適切な時間に評価機会を設定する。</p>	<p>・文化としてのスポーツの意義を理解することや，意見交換や学習ノートの記述などの，思考し判断するとともにそれらを表現する活動及び学習を振り返る活動などに主体的に取り組もうとしている。</p> <p>※全3時間の中で，該当時間のねらい等に対応させ，適切な時間に評価機会を設定する。</p>

3 指導と評価の計画 (3時間)

知識・技能＝知, 思考・判断・表現＝思, 主体的に学習に取り組む態度＝態

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
第1時 現代生活におけるスポーツの文化的意義	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツを楽しむ人たちは、スポーツにどんなよさを感じていると思うか意見を出しあってみる。 2 1の問いや本文・資料から、スポーツが健康な心と体をつくり、新しい自分との出会いや豊かな交流につながることに気づく。 3 本文と資料から、スポーツが生活に根づくために、さまざまな取り組みがなされていることに気づく。 4 学習したことをもとに、なぜ生涯にわたってスポーツに親しむことが大切なのか、ノートなどにまとめ、発表する。 	①			(学習活動4) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。
第2時 国際的なスポーツ大会などが果たす文化的な役割	<ol style="list-style-type: none"> 1 国連に加盟している国と夏季オリンピックに参加している国や地域とでは、どちらが多いか考えてみる。 2 1の問いや本文・資料から、国際的なスポーツ大会の果たす役割は大きいことを理解する。 3 本文と資料から、メディアが国際的なスポーツ大会の役割を支えていることに気づく。 4 学習したことをもとに、国際交流や政界平和をキーワードにした国際的なスポーツ大会の新しいスローガンをグループで考え、発表する。 	②		①	(学習活動2～3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。 (学習活動4) 習得した知識を活用し、課題の解決に向けて筋道を立てて伝え合っている状況を観察で捉える。
第3時 人々を結び付けるスポーツの文化的な働き	<ol style="list-style-type: none"> 1 海外のスポーツ中継は、その国のことばを知らなくても楽しめるのはなぜか考えてみる。 2 本文と資料から、スポーツには民族や国、人種、年齢や性、障害の有無にかかわらず人々を結び付ける力があることについて考え、整理する。 3 スポーツは芸術や科学と同じように、素晴らしい文化であることに気づく。 4 これまで学んだことを踏まえて、違いを超えて交流するイベントや大会をあげ、そこではどのような工夫がなされているか意見交換を行う。 	③		①	(学習活動2～3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。 (単元を通じて) 学習する内容に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に積極的に取り組もうとしている状況を観察で捉える。

【単元名】保健⑤ 感染症の予防と健康を守る社会の取り組み（配当 8 時間）

1 単元の目標

- (1) 感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みについて, 理解することができるようにする。
- (2) 感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みについて, 習得した知識を自他の生活に適用したり, 応用したりして, 疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択することができるようにする。
- (3) 感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みに関心を持ち, 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は, 病原体が原因となって起こる病気であること, また, 病原体は様々な経路で広がっていき, 病原体の種類によって感染経路は異なることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②私たちの体には, 病原体の侵入を防いだり, 排除したりする抵抗力が備わっていること, 体の抵抗力は生活習慣や予防接種によって高めることができることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③感染症を予防するには, 発生源をなくす, 感染経路を遮断する, 体の抵抗力を高めるといった3つの対策が有効であること, 感染症にかかった場合は, 周囲に感染を広げないためにも早期に適切な治療を受けることが重要であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④性感染症の青少年の感染が社会問題となっており, その疾病概念や感染経路, 感染のリスクを軽減する予防方法について, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤エイズは, HIV という病原体によって起こり, 免疫の働きを弱めてしまう感染症であること, その主な感染経路は性的接触であるため, 性感染症の予防方法が有効であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥私たちの健康は, 個人の努力だけでなく, 社会の取り組みによって支えられていること, また, 保健機関の役割を知り, 有効に利用するこ</p>	<p>①感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みにおける事柄や情報などについて, 保健に関わる原則や概念を基に整理したり, 個人生活と関連付けたりして, 自他の課題を発見している。</p> <p>②感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みについて, 習得した知識を自他の生活に適用したり, 応用したりして, 疾病等にかかるリスクを軽減し健康の保持増進をする方法を選択すること。</p> <p>③感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みについて, 課題の解決方法とそれを選択した理由などを, 他者と話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 筋道を立てて伝え合っている。</p> <p>※全8時間の中で, 該当時間のねらい等に対応させ, 適切な時間に評価機会を設定する。</p>	<p>①感染症の予防, 健康を守る社会の取り組みに関心を持ち, 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>※全8時間の中で, 該当時間のねらい等に対応させ, 適切な時間に評価機会を設定する。</p>

<p>とが大切であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦心身の不調を感じたら早期に医療機関を受診する必要があること、医療機関にはそれぞれ役割があり、適切に利用することが求められることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧医薬品には、主作用と副作用があること及び、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		
---	--	--

3 指導と評価の計画 (8 時間)

知識・技能＝知, 思考・判断・表現＝思, 主体的に学習に取り組む態度＝態

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
第1時 感染症と病原体	<p>1 インフルエンザの特徴について、小学校での学習を振り返りながらまとめてみる。</p> <p>2 感染から発病までの仕組みについて本文と資料で確認し、様々な感染症の病原体と主な症状を理解する。</p> <p>3 本文と資料から、感染症には様々な感染経路があることに気づき、交通機関の発達に伴い感染拡大の危険性が高まっていることに気付く。</p> <p>4 ノロウイルスがどのような経路で感染するのかを調べ、ノートなどにまとめる。</p>	①	①		<p>(学習活動2)</p> <p>理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動3)</p> <p>感染症の予防について、自他の課題を発見している状況をノートと観察で捉える。</p>
第2時 感染症と体の抵抗力	<p>1 感染しても発病しない人や、発病しても症状が軽い人がいる理由を考えてみる。</p> <p>2 感染や発病は、体の抵抗力の強さに左右されることがあることを確認し、免疫のしくみを理解する。</p> <p>3 体の抵抗力は生活習慣に左右されること、予防接種は特定の病原体への抵抗力を作り出す有効な方法であることを確認する。</p> <p>4 病原体への抵抗力を高めたり下げたりする要因について、これまで学習した知識を生かして自分の考えをノートなどにまとめる。</p>	②			<p>(学習活動3)</p> <p>理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>

<p>第3時 感染症の予防</p>	<p>1 マスクと病原体の相対的な大きさを示したイラストを見て、マスクは何のためにつけるのか考えてみる。</p> <p>2 感染症のリスクを減らすには3つの対策があることを確認し、コラムを読んで咳エチケットを正しく理解する。</p> <p>3 感染症にかかった場合は、周囲に感染を広げないためにも早期に適切な治療を受け、休養する必要があることについて、自分の生活と関連付けたりして理解する。</p> <p>4 「学習のまとめ」に示された行動を3つの対策に分類し、学習したことを確認する。</p>	<p>③</p>			<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>
<p>第4時 性感染症とその予防</p>	<p>1 性感染症に関する文章を読んで、正しいものに○、間違っているものに×をつける。</p> <p>2 性感染症の感染経路や主な症状・特徴を整理し、若い人の中での感染が問題になっていることに気づく。</p> <p>3 性感染症は感染経路を遮断することで予防できることを確認し、感染の疑いがある場合は早期の受診と治療が重要であることを理解する。</p> <p>4 これまで学習してきたことを振り返りつつ、「学習のまとめ」の文章を完成させる。</p>	<p>④</p>			<p>(学習活動2) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>
<p>第5時 エイズとその予防</p>	<p>1 エイズの感染に関する文章を読んで、正しいものに○、間違っているものに×をつける。</p> <p>2 エイズの症状や特徴を整理し、現在では早期に治療を開始することで日常生活が送れるものの、完全に治す方法はない病気であることを理解する。</p> <p>3 HIVの感染経路は限られており、予防できる感染症であること、感染拡大を防ぐためには保健所での検査が重要であることを理解する。</p> <p>4 これまで学習したことから、エイズ及び性感染症にかかるリスクを軽減する方法を考え、今後の自分の生活において実現可能な方法を選択し、ノートなどにまとめる。</p>	<p>⑤</p>	<p>②</p>		<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 習得した知識を活用し、自他の生活に適用したり、応用したりして、疾病等にかかるリスクを軽減する方法を選択している状況をノートと観察で捉える。</p>

<p>第6時 保健機関とその利用</p>	<p>1 社会人になったら、どこで、どのような健康診断を受けられるか考え、本時の学習に関心を向ける。</p> <p>2 本文と資料から、健康を守るための様々な機関と保健活動を整理する。</p> <p>3 保健所と保健センターの役割の違いを整理し、保健サービスの積極的な活用が私たちの健康につながることを理解する。</p> <p>4 インターネットを活用して自治体が発行する広報誌を入手し、保健活動に関する内容をとりだして、その情報を整理する。</p>	<p>⑥</p>	<p>③</p>	<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 習得した知識を活用し、課題の改善に向けて筋道を立てて伝え合っている状況をノートと観察で捉える。</p>
<p>第7時 医療機関とその利用</p>	<p>1 自分が暮らす地域のどこに、どのような医療機関があるか、意見を出しあってみる。</p> <p>2 本文と資料から、心身の不調を感じた場合は早期に医療機関を受診する必要があることを確認し、医療機関の役割に応じた適切な利用の仕方があることを理解する。</p> <p>3 医療機関を上手に活用するためのポイントを整理し、自分の日常生活と関連付けて理解する。</p> <p>4 事例「急性覚醒剤中毒」を読んで、気づいたことをグループで話し合ってみる。</p>	<p>⑦</p>		<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>
<p>第8時 医薬品の正しい使い方</p>	<p>1 医薬品のパッケージに示された説明書を見て、共通する項目を挙げてみる。</p> <p>2 医薬品には自然治癒力を助ける役割があることに気づき、その主作用と副作用を理解する。</p> <p>3 医薬品の様々な形状とその意味に気づき、決められた使用方法に従って用いる必要があることを理解する。</p> <p>4 「学習のまとめ」の文章を読んで、これまで学習した知識を生かして間違いを指摘してみる。</p>	<p>⑧</p>	<p>①</p>	<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 関心を持ち、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている状況を観察で捉える。</p>

【単元名】保健⑥ 環境の健康への影響（配当8時間）

1 単元の目標

- (1) 健康と環境について、理解することができるようにする。
- (2) 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 健康と環境に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組むことができるようにする。

2 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①体には環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があること、適応能力の限界を超えると健康に重大な影響があるため、環境の変化に対処することが重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②気象情報は、人々の迅速な防災行動を促したり、気象の変化によっておこる健康被害を未然に防いだりすることに役立つこと、特に熱中症を防ぐには気象情報の適切な利用が有効であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③気温・湿度・気流には、学習やスポーツなどそれぞれの活動がしやすい至適範囲があり、至適範囲から外れると活動の能率の低下がみられること、また、明るさにも至適範囲があり、活動の内容や場所によって異なることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④二酸化炭素の増加や一酸化炭素の発生によって室内の空気が汚染されると健康に害を及ぼすこと、また、衛生的な室内環境を保つためには換気が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑤水は、人間の生命維持や健康な生活と密接なかわりがあり重要な役割を果たしていること、また、飲料水には水質基準が設けられており、水道施設を設けて衛生的な水を確保していることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑥し尿やごみなどの廃棄物を放置すると、自然環境が汚染され、健康にも悪影響を及ぼすこと、そのため廃棄物の種類に応じて衛生的に処理する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑦地震や台風、局地的豪雨などの災害によって環境が悪化すると、様々な健康被害が発生すること、また、災害時には公共機関の情報を活用したり、即時性や局地性に優れた SNS など</p>	<p>①健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している。</p> <p>②身体的环境に対する適応能力・至適範囲について、習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだしている。</p> <p>③飲料水や空気の衛生的管理や廃棄物の衛生的管理について、習得した知識と自他を取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している。</p> <p>④健康と環境について、課題の解決方法とそれを選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝えている。</p> <p>※全8時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>	<p>①健康と環境に関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>※全8時間の中で、該当時間のねらい等に対応させ、適切な時間に評価機会を設定する。</p>

<p>の情報源の正確性を判断したうえで活用する必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>⑧健康に影響を及ぼす環境汚染は変化してきていること、環境問題は生活と密接につながっており、循環型社会の実現には私たち一人ひとりの行動が重要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>		
--	--	--

3 指導と評価の計画 (8 時間)

知識・技能＝知, 思考・判断・表現＝思, 主体的に学習に取り組む態度＝態

時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
<p>第1時</p> <p>環境の変化への体の適応</p>	<p>1 「暑い」「寒い」と感じたときに体に起こる変化を振り返り、本時の学習に関心を向ける。</p> <p>2 本文と資料から、人には環境の変化への適応能力があることを理解する。</p> <p>3 資料④を見て、適応能力には限界があることに気づき、環境の変化に対処することが重要であることを確認する。</p> <p>4 資料⑤を手掛かりにして、冬の寒い中で運動や活動をするときの対処のしかたについて、グループで話し合ってみる。</p>	①	①		<p>(学習活動3)</p> <p>理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4)</p> <p>健康と環境に関わる原則や概念を基に、収集した情報を整理したり、習得した知識を個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見している状況をノートと観察で捉える。</p>
<p>第2時</p> <p>気象情報の適切な利用</p>	<p>1 気象に関する情報をどこで入手できるか、考えられる方法をたくさん挙げてみる。</p> <p>2 コラムを読んで、様々な気象観測のデータをもとに気象情報が作られ、様々なメディアから得られることに気づき、気象情報が健康被害の防止に役立つことを理解する。</p> <p>3 保健の窓を使って、ウェブサイトで現在地の熱中症リスクを調べ、グループで話し合ってみる。</p> <p>4 熱中症が6月にも起こる理由を考え、クラス全体で意見交換を行う。</p>	②	②		<p>(学習活動2)</p> <p>理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動3)</p> <p>習得した知識を自他の生活に適用したり、課題解決に役立てたりして、熱中症などになるリスクを軽減し、健康を保持増進する方法を見いだしている状況をノートと観察で捉える。</p>

<p>第3時 快適で能率のよい環境</p>	<p>1 AさんとBさんの様子を見て、活動に適した環境にするための改善点を考えてみる。</p> <p>2 本文と資料から、気温・湿度・気流の至適範囲を理解する。</p> <p>3 活動内容と明るさに至適範囲について、資料⑤を使って整理する。</p> <p>4 「学習のまとめ」のイラストを見て、自宅を快適に保つための環境面の工夫について調べてみる。</p>	<p>③</p>		<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容を観察などで捉える。</p>
<p>第4時 室内の空気の汚染と換気</p>	<p>1 「課題をつかむ」のグラフを見て、物質A、Bは何か考えてみる。</p> <p>2 二酸化炭素の増加や一酸化炭素の発生によって室内の空気が汚染されると健康に害がおよぶことを確認する。</p> <p>3 コラムを読んで、時代の変化とともに建物の気密性が高まっていることに気づき、衛生的な室内環境を保つためには寒気が必要であることを確認する。</p> <p>4 「学習のまとめ」に示された条件で、二酸化炭素の濃度が何倍になるか、算出してみる。</p>	<p>④</p>		<p>(学習活動2) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>
<p>第5時 衛生的な飲料水の供給</p>	<p>1 世界の人口を100人と仮定したときに、衛生的な水が飲めない人は何人いると思うか、考えてみる。</p> <p>2 本文と資料から、水は生命維持や健康な生活と密接なかわりがあることに気づく。</p> <p>3 衛生的な飲料水を供給するために、水質基準が定められ、水道施設が設けられていることを理解する。</p> <p>4 地震や水道の事故で断水になった際、自宅で雨水を安全に飲むためにはどうすればよいか、グループで話し合ってみる。</p>	<p>⑤</p>	<p>③</p>	<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 習得した知識と自他を取り巻く環境とを関連付けたり、整理したりして、疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を選択している状況をノートと観察で捉える。</p>
<p>第6時 し尿とごみの処理</p>	<p>1 「課題をつかむ」の写真を見て、当時のごみ箱ではどんな問題が起こっていたのか考えてみる。</p> <p>2 し尿やごみを放置すると自然環境が汚染され、健康にも悪影響を及ぼすことに気づく。</p> <p>3 し尿やごみを衛生的に処理するための仕組みや流れを整理する。また、ごみの多くは最終的には処分場に埋め立てられていることを理解する。</p> <p>4 資料②を見ながら、もしもし尿が漏れ出して井戸水を汚染した場合にどのような健康被害が起こるか、グループで話し合ってみる。</p>	<p>⑥</p>		<p>(学習活動3) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p>

<p>第7時 災害と環境</p>	<p>1 マンホールの写真を見て、災害時にどんな役割を果たすのか考えてみる。</p> <p>2 地震や台風などの災害によって環境が悪化した際に起こる様々な健康被害に気づき、その被害を最小限に抑える対策について理解する。</p> <p>3 災害時に活用すべき公共機関からの情報について整理し、災害時の SNS 情報の正確性を判断するポイントをグループで話し合ってみる。</p> <p>4 防災ラジオではどのような災害情報を得ることができ、そのほかにどのような機能があるのか、調べてみる。</p>	<p>⑦</p>	<p>④</p>	<p>(学習活動2) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動3) 習得した知識を活用し、課題の改善に向けて筋道を立てて伝え合っている状況をノートと観察で捉える。</p>
<p>第8時 私たちの生活と環境問題</p>	<p>1 新聞記事を手掛かりにしつつ、身近なところで環境が健康に悪影響を及ぼした例を挙げてみる。</p> <p>2 健康に影響を及ぼす環境汚染は、時代とともに変化してきていることに気づく。</p> <p>3 環境問題は生活と密接につながっており、循環型社会の実現には私たち一人ひとりの行動が重要であることを本文と資料から理解する。</p> <p>4 プラスチックごみによる海洋汚染の問題点と改善に向けた対策について調べ、その結果を発表してみる。</p>	<p>⑧</p>	<p>①</p>	<p>(学習活動2) 理解したことを言ったり書いたりしている内容をノートなどで捉える。</p> <p>(学習活動4) 関心を持ち、課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている状況を観察で捉える。</p>